

第7回 まなづる株主ミーティング 次第

2025 年 9 月 23 日(火)10:00～12:00@真鶴町民センター 3 階講堂

まなづる株主ミーティングとは

真鶴町のオーナーは町民のみなさんです。だとすれば、株式会社が株主に定期的に経営状況を報告するのと同じように、町の経営状況を町民にご報告すべきではないか。

上場企業の場合、年 1 回の株主総会と四半期ごとの決算短信が義務です。また、定期的に株主ミーティングを行う会社も少なくありません。一方、町では四半期ごとに町民代表の議会へ各種報告等を行ってはいますが、株主総会にあたる選挙は 4 年に 1 回であり、町民のみなさんに直接報告する場もこれまでありませんでした。

有名な事例として、東京都東村山市では年 1 回「株主総会」を行っています。これにならって、四半期ごとに公開の場で「株主ミーティング」を開催し、経営状況を報告しながら町政運営についてのご意見を伺うことにしました。町のこれからを一緒に考えましょう。

次第

- 10:00 開会あいさつ(司会：副町長)
流れの説明、資料確認
- 10:05 町長からの報告と質疑応答
- 11:00 自由な意見交換
- 11:45 投票と結果発表
- 12:00 閉会あいさつ

すぐやる 5 大事業

1. 水道代を値下げします！
2. 無料バスを走らせます！
3. 役場にワンストップ窓口をつくれます！
4. 中学校給食を早期導入します！
5. 地域商品券で町内経済を回します！

主な説明内容

- ・広報真鶴 9 月号 2 ページ目について
- ・中川一政美術館の今後について
- ・教育長の任用について

資料

- ・広報真鶴 9 月号
- ・美術館の一年間休館と今後の予定について（広報真鶴 3 月号 3 ページ目）
- ・アンケート用紙
- ・投票用紙

以上

お林展望公園を「普通の公園」に

問 産業観光課 ☎内線334

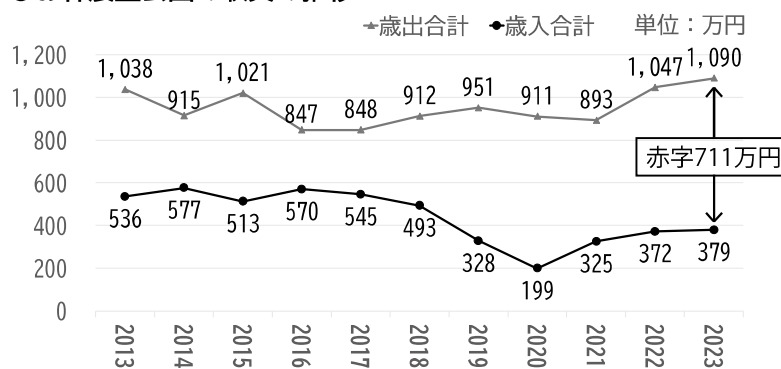
お林展望公園は、2025年4月よりパークゴルフ場主体ではなく荒井城址公園と同様の一般的な公園に転換して用途を拡げる考えです。

お林展望公園の土地は、1963年に小田急電鉄子会社が「真鶴サボテンドリームランド」として開設しましたが、同社の撤退に伴い町が建物を購入し、一般的な公園として整備したものです。2012年よりパークゴルフ場主体の公園へと転換しましたが、2023年度には利用者が10,814人とどまり約711万円の赤字となるなど経営不振が続いていました。

このたび、再び一般公園化しようとする狙いは大きく2つあります。第1に、普通の公園として開放することで、あの素晴らしい環境に町民が普段から自由に親しむことができるように

すること。第2に、有料での占用利用を認め、イベントや野外フェスティバル等の開催を呼び込んで活性化の方向を探ること。お林展望公園の今後にご期待ください。

●お林展望公園の収支の推移



美術館の一年間休館と今後の予定について

問 教育課 ☎内線436

真鶴町立中川一政美術館を2025年4月より改修工事のため一年間休館し、その間に今後の運営方法も見直しを図る考えです。

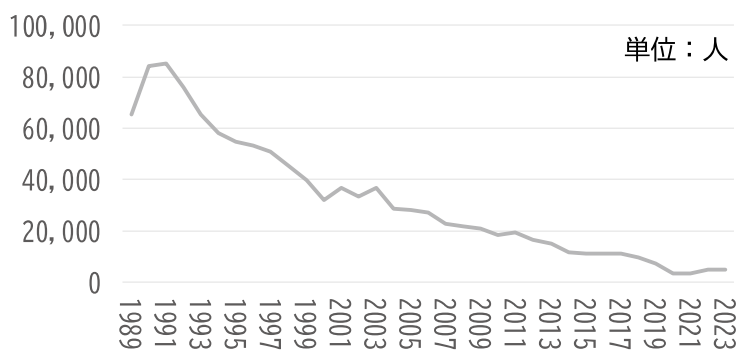
同館は1988年の開館後37年が経過しており、建物や設備の大規模修繕が必要な時期を迎えています。この間、利用に供することを優先して開館したままではできない工事等を先送りしてきましたが、この機に国の登録博物館*としての登録へ向けた機能拡充も図りたいと考えています。

併せて、休館中に同館の運営方法の見直しも図る予定です。同館は1991年度に最多の来館

者数85,060人を数えましたが、2023年度には4,997人とどまり年間約2000万円の赤字となるなど経営不振が続いています。こうしたこともあり、再開時には名称を「真鶴町立美術館」へと改め、多様な作家の企画展を町の裁量で実施できるようにすることを検討中です。

なお、休館中も資料の保存、調査研究、学習支援（館外での行事・学校への出張講座・地域連携等）、情報発信、図書資料の整備・発信等、さまざまな活動を継続して行っています。同館ホームページや広報真鶴等で随時お伝えしていきます。

●入館者数の推移



*登録博物館とは博物館法に定められた登録基準を満たした博物館です。
なお、博物館法上は美術館も博物館の一種と位置付けられています。